

## 株主メモ

証券コード 4951  
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月  
剰余金の配当 剰余金の配当は毎年3月31日現在の株主に、また中間配当を支払う場合は毎年9月30日現在の株主にそれぞれお支払いいたします。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

郵便物送付先 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号  
お問合せ先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)

同取次所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店  
みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店

単元株式数 100株  
公告方法 日本経済新聞

決算公告ホームページのご案内  
当社の決算公告は、当社ホームページ (<http://www.st-c.co.jp/ir/>) に掲載しておりますので、こちらでご覧いただけます。

## 当社IR情報について

当社ホームページでは、機関投資家や個人投資家の皆様に、当社の経営内容や将来展望、経営理念や財務諸表・適時開示情報等をより深くご理解いただくためにIRのページを設けております。  
ご希望の方にはIRメールの配信サービスも行っております。  
当社ホームページ「IR情報」<http://www.st-c.co.jp/ir/>

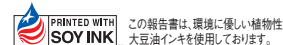


## ■社名の由来■

会社の基本方針「社会に対する奉仕(SERVICE)と信頼(TRUST)を信条とし、製品については最高(SUPER TOP)を理念とする事」よりとったものであります。



〒161-8540 東京都新宿区下落合1-4-10  
TEL. 03-5906-0731



# 第61期 ひよこ Report

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで



連結

	第58期	第59期	第60期	第61期 (当期)
売上高 (百万円)	44,109	46,134	45,227	47,005
経常利益 (百万円)	3,260	2,640	3,070	2,771
当期純利益 (百万円)	1,823	987	1,746	1,295
純資産 (百万円)	27,449	27,860	24,648	19,144
総資産 (百万円)	36,959	37,905	33,829	28,392
1株当たり当期純利益金額 (円)	63.43	34.35	65.10	54.08

単体

	第58期	第59期	第60期	第61期 (当期)
売上高 (百万円)	42,396	44,331	43,201	45,232
経常利益 (百万円)	2,586	1,822	2,196	2,191
当期純利益 (百万円)	1,520	687	1,310	1,080
純資産 (百万円)	26,284	26,334	22,112	16,431
総資産 (百万円)	34,808	35,372	30,802	25,215
1株当たり当期純利益金額 (円)	52.91	23.91	48.85	45.10



取締役兼代表執行役社長

小林 寛三

株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃のあたたかいご理解とご支援に厚く御礼申し上げます。当社の近況ならびに今後の方向につきましてご報告いたします。

〈当社の近況〉

この一年を振り返りますと、一本調子の原油価格高騰による予想を上回る原材料コスト等の上昇が経営に大きな影響を与える中、当社グループは、商品やサービスを通じて、お客様の生活に「癒しと感動」を提供する企業活動を続けてまいりました。

主力のエアケア（消臭芳香剤）市場では、外資系大手トイレタリーメーカーの参入によって競争が激化する中、主力ブランド「消臭力」や今後も市場創造が期待できる「消臭プラグ」に重点を置き、広告宣伝と店頭販売とを連動させた効果的な販売促進活動を行い、売上増に寄与いたしました。また、季節要因に左右されるサーモケア（カイロ）事業は、厳冬により大きく伸ばいたしました。さらに海外事業では、昨年春よりスタートした韓国での合併事業が、初年度から順調に推移

し、海外での売上を前期比154%と大幅に伸ばいたしました。

一方、株主の皆様への一層の利益還元と機動的且つ長期的視点による資本政策を実現するために、自己株式の公開買付けを行い、400万株（約60億円）を取得いたしました。

また、2007年8月に会社名を「エステー化学株式会社」から「エステー株式会社」へと変更いたしました。「化学にとらわれない」柔軟な発想のもと、エステーの持つ強みである創業以来の独創的な製品を生み出す研究・開発技術とそれを新たな市場へと育て上げる営業・マーケティング力を生かすことで、さらなる企業価値の向上を目指してまいります。

〈今後の方向〉

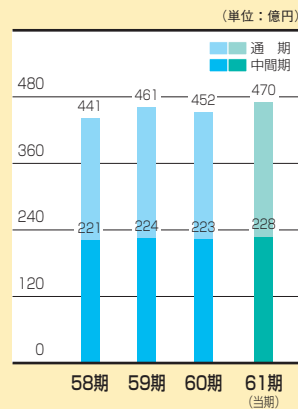
現場力を強めた全体最適を重視した会社へと変革するために、昨年から3つの方針を掲げ、取り組んでおります。これら①「効率化経営」②「成長経営」③「意識改革の推進」は、今年も継続し、実行してまいります。この3つの方針は、業務執行のスピードを高め、変化に慧敏に対応して自らが変化していくことにより、激しい競争の中で当社が勝ち抜き、利益ある持続的成長を実現していくのに必要な変革だと考えております。当社を取り巻く経営環境は、原油価格の異常な高騰や、個人消費の動向が不透明な状況の中、今後も厳しい状況が続くものと思われます。しかしながら、常に危機感を持って事業に取り組むことで、着実に企業価値の向上に努めていく所存であります。

また、当社の利益配分の基本方針は、引き続き、成長力・収益力の向上と企業体質強化のための積極的な投資と共に、株主配当の安定を目指してまいります。さらに、今後は業績に連動した配当政策を進めてまいります。今期の配当金につきましては、業績予想ならびに利益配当に関する基本方針を勘案し、前期同様、年22円の配当を計画しております。

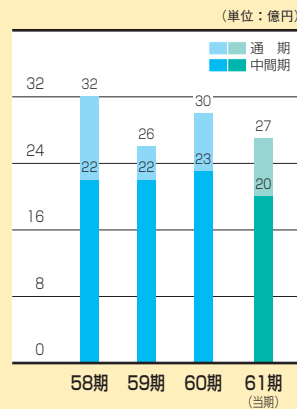
株主・投資家の皆様には、従来と変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2008年6月

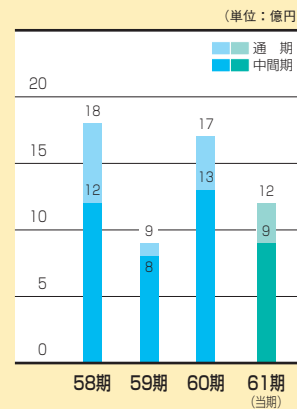
〈連結〉 売上高



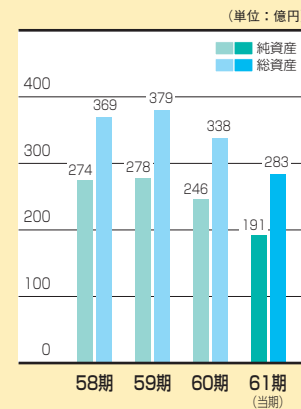
〈連結〉 経常利益



〈連結〉 当期純利益



〈連結〉 純資産・総資産



営業の経過および成果

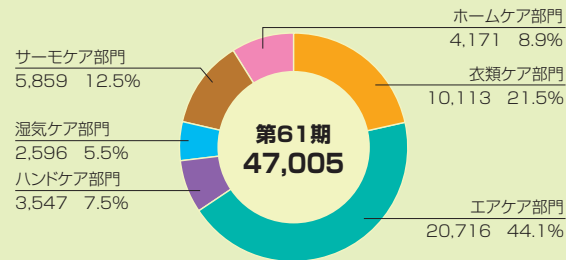
当期の連結業績につきましては、主力のエアケア（消臭芳香剤）部門のほか、ハンドケア（手袋）部門、ホームケア（その他）部門が堅調に推移したことに加え、厳冬の影響もありサーモケア（カイロ）部門が大きく売上を伸ばしたことなどにより増収となりました。

利益面につきましては、原油価格が高騰し、個人消費が不透明な状況で推移する中、コスト削減に努めたものの資材価格の上昇を抑制しきれなかったこと、マーケティング投資を積極的に実施したこと、および主力関係会社の競争激化・市場の縮小などにより減益となりました。

これらの結果、売上高は470億5百万円（前期比3.9%増）となり、営業利益は32億18百万円（前期比3.7%減）、経常利益は27億71百万円（前期比9.7%減）となりました。

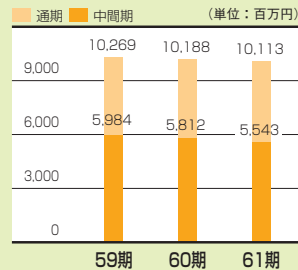
また当期純利益は、12億95百万円（前期比25.8%減）となりました。主な要因は、社名変更にかかる費用2億77百万円を特別損失に計上したことなどによるものです。

●部門別売上高構成比〈連結〉



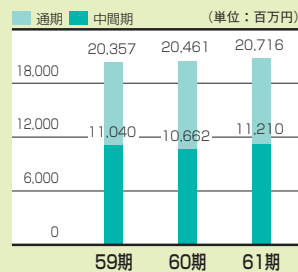
●衣類ケア（防虫剤）部門〈連結〉

衣類ケア（防虫剤）部門の売上高は、101億13百万円（前期比0.7%減）となりました。当部門につきましては“消臭・香り”の機能がついた新製品「ビコーダ 引き出し・衣装ケース用」、「ムシューダ 防虫カバー消臭プラス」が売上に寄与したほか、昨秋の天候不順による衣替えのずれ込みも、10月の商戦で挽回し、ほぼ前年並みとなりました。



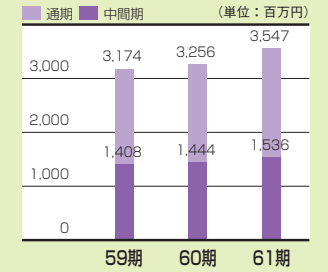
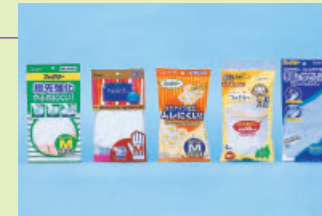
●エアケア（消臭芳香剤）部門〈連結〉

エアケア（消臭芳香剤）部門の売上高は、207億16百万円（前期比1.2%増）となりました。当部門につきましては、新製品「消臭ポット ジュエリア」や「シャルダン マイアロマ」が売上に貢献したほか、コアブランドである「消臭力」や「エアウォッシュ」、「消臭ブラグ」の売上が好調に推移し、売上に寄与しました。



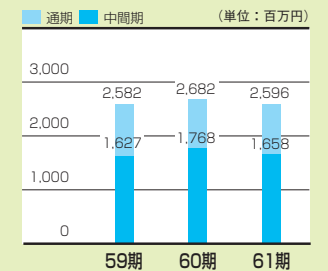
●ハンドケア（手袋）部門〈連結〉

ハンドケア（手袋）部門の売上高は、35億47百万円（前期比8.9%増）と増収となりました。当部門につきましては、業務用ニトリルゴム手袋、薄手ゴム手袋や海外市場を中心に中厚ビニール手袋の販売が引き続き好調に推移し、売上に寄与しました。



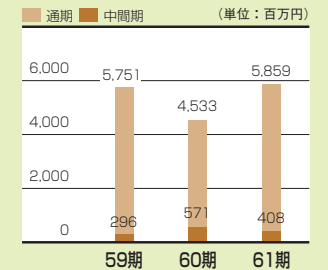
●湿気ケア（除湿剤）部門〈連結〉

湿気ケア（除湿剤）部門の売上高は、25億96百万円（前期比3.2%減）となりました。当部門につきましては、シートタイプの除湿剤に加え、使い捨てタンクタイプの除湿剤「ドライペットスキット」の売上が低調に推移し、売上は微減となりました。



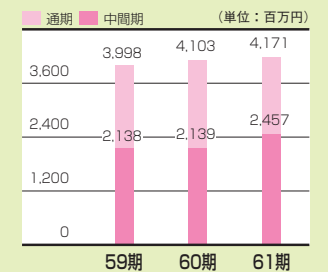
●サーモケア（カイロ）部門〈連結〉

サーモケア（カイロ）部門の売上高は、58億59百万円（前期比29.2%増）となりました。当部門につきましては、前シーズンの記録的な暖冬から一転して2月の厳しい冷え込みなど、厳冬の影響もあって売上は大幅な伸長となりました。



●ホームケア（その他）部門〈連結〉

ホームケア（その他）部門の売上高は、41億71百万円（前期比1.7%増）となりました。当部門につきましては、従来販売を行っていた食器洗い機専用洗剤の販売委託契約終了による影響もありましたが、これに代わって新たに市場に投入した食器洗い機専用洗剤「フレッシュアップ」をはじめ、「パワーズ重曹ブラッシュ」「セルフケア 立体着圧ソックス」などが売上に貢献し増収となりました。



●連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

	当期末	前期末		当期末	前期末
	(平成20年3月31日)	(平成19年3月31日)		(平成20年3月31日)	(平成19年3月31日)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	16,079	20,289	流動負債	7,580	7,494
現金及び預金	6,007	8,135	支払手形及び買掛金	4,530	3,960
受取手形及び売掛金	4,297	4,450	未払金	1,866	1,931
有価証券	493	2,229	その他	1,184	1,602
たな卸資産	4,620	4,646	固定負債	1,667	1,686
繰延税金資産	362	385	退職給付引当金	1,201	1,207
その他	317	455	役員退職慰労引当金	84	97
貸倒引当金	△ 18	△ 14	再評価に係る繰延税金負債	380	380
固定資産	12,312	13,540	その他	0	1
有形固定資産	7,070	7,370	負債合計	9,248	9,180
建物及び構築物	2,348	2,468	純資産の部		
土地	3,392	3,412	株主資本	18,883	24,100
その他	1,329	1,489	資本金	7,065	7,065
無形固定資産	457	470	資本剰余金	7,067	7,067
投資その他の資産	4,785	5,699	利益剰余金	15,833	15,120
投資有価証券	2,988	3,989	自己株式	△ 11,082	△ 5,152
繰延税金資産	291	205	評価・換算差額等	△ 257	19
その他	1,546	1,524	その他有価証券評価差額金	541	811
貸倒引当金	△ 41	△ 19	土地再評価差額金	△ 548	△ 548
資産合計	28,392	33,829	為替換算調整勘定	△ 250	△ 242
			新株予約権	27	7
			少数株主持分	489	520
			純資産合計	19,144	24,648
			負債・純資産合計	28,392	33,829

●連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当期	前期
	(自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
売上高	47,005	45,227
売上原価	26,886	25,242
売上総利益	20,118	19,984
販売費及び一般管理費	16,900	16,641
営業利益	3,218	3,342
営業外収益	679	681
営業外費用	1,126	952
経常利益	2,771	3,070
特別利益	7	9
特別損失	320	41
税金等調整前当期純利益	2,458	3,039
法人税、住民税及び事業税	1,013	1,266
法人税等調整額	96	△ 32
少数株主利益	52	58
当期純利益	1,295	1,746

POINT 1  
売上高はエアケア、ハンドケア、ホームケアが堅調に推移したことに加え、厳冬の影響でサーモケアの売上が大きく伸びたことにより前期比3.9%増の増収となりました。一方、利益面では、原油価格の高騰・個人消費の不透明感などの影響をコスト削減で吸収しきれなかったこと、主力関係会社の競争激化・市場の縮小などにより営業利益は前期比3.7%減、経常利益は前期比9.7%減となりました。

POINT 2  
当期純利益は、12億95百万円（前期比25.8%減）となりました。これは、社名変更にかかる費用2億77百万円などを特別損失に計上したことなどによるものです。

●連結株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

	株主資本					評価・換算差額等				新株予約権	少数株主持分	純資産合計	
	当 期 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定				評価・換算 差額等合計
平成19年3月31日残高		7,065	7,067	15,120	△ 5,152	24,100	811	△ 548	△ 242	19	7	520	24,648
当期中の変動額	剰余金の配当			△ 567		△ 567							△ 567
	当期純利益			1,295		1,295							1,295
	自己株式の取得				△ 5,962	△ 5,962							△ 5,962
	自己株式の処分			△ 15	32	17							17
	株主資本以外の項目の 当期中の変動額(純額)						△ 269	—	△ 7	△ 276	20	△ 30	△ 287
当期中の変動額合計		—	—	712	△ 5,930	△ 5,217	△ 269	—	△ 7	△ 276	20	△ 30	△ 5,504
平成20年3月31日残高		7,065	7,067	15,833	△ 11,082	18,883	541	△ 548	△ 250	△ 257	27	489	19,144

●連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当期	前期
	(自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	2,783	2,636
投資活動による キャッシュ・フロー	871	2,220
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 6,588	△ 5,561
現金及び現金同等物に係る 換算差額	6	13
現金及び現金同等物の 増減額	△ 2,927	△ 690
現金及び現金同等物 期首残高	8,111	8,802
現金及び現金同等物 期末残高	5,184	8,111

●連結対象会社

連結子会社（国内4社／海外2社） 持分法適用会社（国内1社／海外3社）  
 エステートレーディング株式会社 スリーエム・エステー販売株式会社  
 エステーオート株式会社 シャルダン（マレーシア）  
 エステー・マイコール株式会社 シャルダン（フィリピン）  
 エステービジネスサポート株式会社 愛敬S.T.（韓国）  
 ファミリーグループ（タイ）  
 ファミリーグループ（台湾） ※シャルダン（マレーシア）は、  
 清算手続中

●単体貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

	当期末 (平成20年3月31日)	前期末 (平成19年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	12,703	17,156
固定資産	12,511	13,646
有形固定資産	6,683	6,943
無形固定資産	450	464
投資その他の資産	5,376	6,238
資産合計	25,215	30,802
<b>負債の部</b>		
流動負債	7,163	7,050
固定負債	1,621	1,639
負債合計	8,784	8,690
<b>純資産の部</b>		
株主資本	16,410	21,842
資本金	7,065	7,065
資本剰余金	7,067	7,067
利益剰余金	13,359	12,861
自己株式	△ 11,082	△ 5,152
評価・換算差額等	△ 7	262
その他有価証券評価差額金	541	811
土地再評価差額金	△ 548	△ 548
新株予約権	27	7
純資産合計	16,431	22,112
負債・純資産合計	25,215	30,802

●単体株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

当期 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	株主資本								評価・換算差額等				新株 予約権	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価 差額金	土地 再評価 差額金	評価・換算 差額等合計			
		資本 準備金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	買換資産 特別勘定 積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金								利益 剰余金 合計
平成19年3月31日残高	7,065	7,067	7,067	549	29	10,260	2,022	12,861	△ 5,152	21,842	811	△ 548	262	7	22,112
買換資産特別勘定積立金の取崩				△ 0			0								
剰余金の配当							△ 567	△ 567		△ 567					△ 567
当期純利益							1,080	1,080		1,080					1,080
自己株式の取得									△ 5,962	△ 5,962					△ 5,962
自己株式の処分							△ 15	△ 15	32	17					17
株主資本以外の項目の 当期中の変動額（純額）											△ 269	-	△ 269	20	△ 249
当期中の変動額合計	-	-	-	△ 0	-	498	497	△ 5,930	△ 5,432	△ 269	-	△ 269	20	△ 5,681	
平成20年3月31日残高	7,065	7,067	7,067	549	29	10,260	2,520	13,359	△ 11,082	16,410	541	△ 548	7	27	16,431

●単体損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当期 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	前期 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
売上高	45,232	43,201
売上原価	27,098	25,232
売上総利益	18,133	17,969
販売費及び一般管理費	15,761	15,621
営業利益	2,372	2,347
営業外収益	840	735
営業外費用	1,021	886
経常利益	2,191	2,196
特別利益	7	9
特別損失	320	50
税引前当期純利益	1,877	2,155
法人税、住民税及び事業税	713	868
法人税等調整額	84	△ 24
当期純利益	1,080	1,310

新生エステーがスタートして

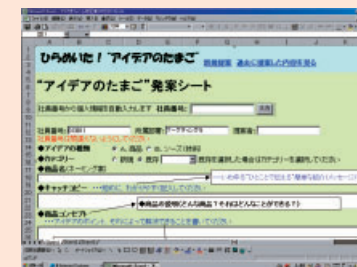
2007年4月1日よりスタートした新生エステーでは、「効率化経営」「成長経営」「意識改革の推進」の3つの方針を掲げハイスピードで変革に取り組んでまいりました。「意識改革の推進」では、一人ひとりが意識変革を進めチームワークを重視し個人・組織の力が最大限に発揮できる全員参加型の経営を目指しております。

世にない商品の開発「アイデアのたまご」

当社は、“化学”にとらわれない発想で新規事業のタネを生み出す「提案型の経営」を掲げました。

「アイデアのたまご」は、生まれ変わった新生エステー全員の意識改革と今までの常識にとらわれない柔軟な発想“世にない商品の開発”を目的として、2007年8月と2008年2月の年2回実施しました。第1回の応募数555件・第2回の応募数529件、合計1,084件にのぼるアイデアが寄せられ、現在はその中からいくつかのアイデアが商品化に向けて進められています。

これからも、第二次成長期の実現に向け「アイデアのたまご」をもとに新しい市場を創造するマーケティング活動を行ってまいります。



部分最適から全体最適へ「コラボ会議&仕事の新工夫」

当社は効率化への取り組みとして、“部分最適から全体最適へ”営業・製造・マーケティングの各部門が一同に会する「コラボ会議」を開催しています。2007年は5回開催され、各部門のマネージャーが参加し、“返品改善”という課題にフォーカスして討議し改善を行ってまいりました。

また、業務の効率化を目的とした「仕事の新工夫」活動を2007年10月よりスタートし、業務改善のアイデアを募集する提案システムでは、39件の効率化のアイデアが出され、順次取り組みを開始しています。



全社員が店頭で販売「空気をかえようDay」

当社では年2回、社内で業務を行っている内勤社員も販売店の売場に立つ、全社員による推奨販売「空気をかえようDay」を行っています。

「空気をかえようDay」は、各スタッフが店頭でお客様の声に直接触れることにより、自らの業務を違った視点で見る“空気をかえるきっかけ”の場としています。

これにより、店頭では販売促進やパワーブランド育成のサポートを行うとともに、社内全体の市場感覚の醸成の一助となっています。



エステーでは、新しい用途・ニーズを開拓し、差別性の高い高付加価値商品“世にない商品の開発”に注力してまいりました。今春発売の新商品では、高付加価値商品として『基本機能』に『プレミアム』をプラスしてお客様の暮らしに「癒しと感動」をお届けしています。

### 消臭ポット ジュエリア

「消臭ポット ジュエリア」、キーワードは「宝石」。今後も成長が見込まれる主要カテゴリーエアケア（消臭芳香剤）部門のブランド香りるるる「消臭ポット」シリーズにプレミアムを付加した製品です。

光によってきらめく宝石をイメージしたクリスタルカットゼリーで、見た目や香りでも癒されるゼリー状の消臭芳香剤です。

基本性能である消臭機能に、クリスタルカットゼリーの“きらめき”と日本かおり研究所監修によるエッセンシャルオイル配合の“上質な香り”でプレミアム感を演出。香りの種類は、宝石の名を冠したブルーに輝く「サファイアソープの香り」、ピンクが眩しい「ピンクダイヤモンドの香り」、そしてグリーンに光る「エメラルドグリーンの香り」の3アイテムをラインナップしています。香りは通常、1.5～2.5ヵ月間持続します（使用環境によって異なります）。



### セルフケア「立体着圧シリーズ」

昨年8月の社名変更後、新生エステーのこれまでにない新たな領域への挑戦として美容と健康をサポートする女性用着圧ソックス「セルフケア立体着圧ソックス」シリーズを商品化しました。

2007年9月に第一弾として、部位別最適着圧設計を図り、足の形に合わせて足首からふくらはぎにかけて前後・上下の圧力をコントロールして立体的に引き締める「セルフケア 立体着圧ソックス」（汗ムレによる臭いを抑える備長炭タイプ・女性に人気のゲルマニウムタイプの2タイプの機能性繊維をラインナップ）、2008年3月にはヒップから足首までをサポートする「セルフケア 立体着圧レギンス」・膝下から足の甲までをサポートする「セルフケア 立体着圧トレンカ」を発売し順調に推移しています。

着圧ソックスやストッキングの市場規模は、2004年の63億円から2007年には約120億円とほぼ倍増しており、今後も伸びる市場として期待されています。



### フレッシュアップ

「FRESH-UP（フレッシュアップ）」は、年々家庭での普及率がアップしている食器洗い機専用洗剤のトータルケアブランドです。

「FRESH-UP」は、3つの酵素で“ごはん・卵・油”のこびりついた汚れに浸透してしっかりと洗浄、食器洗い機庫内のニオイも消臭します。

天然メント成分配合で薬剤投入時に薬剤臭がせず、高い消臭効果により食品に起因するニオイも消臭、洗い上がりもスッキリです。

また、環境先進国であるドイツで開発された洗浄技術を利用していることで、全成分の約75%以上が5日間以内に生分解される（BOD生分解性試験※）環境にも配慮した洗剤となっています。

「FRESH-UP庫内クリーナー」は、食器洗い機庫内の水アカや油汚れを落とし除菌します。（※BOD生分解性試験…生物学的酸素要求量、水質汚染の程度を測る方法）



### エアコンから消臭エアウォッシュ

「エアコンから消臭エアウォッシュ」は、エアコンの本体に付属の粘着テープで設置することで、“においセンサーゼリー”でしっかりと消臭し、“自然の香気”がエアコンを動作させた際の風によって部屋全体に広がり、空気を洗いたてにリフレッシュする新しい消臭芳香剤です。

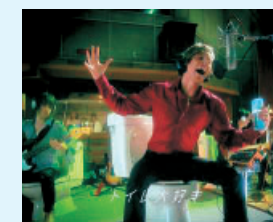
“自然の香気”とは、世界各地から自然のフレッシュな空気を集め、微量な香気成分を特定し、独自にブレンドして再現した香りです。日本かおり研究所が監修した「すみきった森林の香気（写真左）」と「さえわたる清流の香気（同右）」の2タイプがあります。



### 効果的かつ話題性の高い宣伝活動

CM総合研究所が実施する、消費者が選ぶ「2007年 CM好感度企業」\*1として、当社が全日本の企業で33位にランクされました。一方、「広告宣伝費企業ランキング」\*2では当社は234位に位置づけられており、費用対効果の高い効率的な宣伝活動に取り組んでいることが評価をいただきました。

中でも外国人ミュージシャンが、「消臭力、トイレ大好き〜♪」を大合唱する「トイレの消臭力」“Song for Toilet”篇や、殿様シリーズでお馴染みの「消臭プラグ」“殿十一変化”篇などは、当社ならではのユニークなCMとして多くの新聞・雑誌などで取り上げられたほか、広告業界やネットなどでも大きな反響を呼びました。



トイレの消臭力CM

エステー宣伝部ドットコム <http://st-sendenbu.com/>

出典：\*1 CM総合研究所「日本のベスト・アドバイザー2007」  
\*2 日経広告研究所「有力企業の広告宣伝費・平成19年度版」

## グローバル展開が好調

グローバル展開では、グローバル・ニッチ・No.1を掲げ、成長戦略の重点項目として「世にない商品を海外へ」をキーワードに積極的にグローバル展開を図りました。その結果、海外売上高は前期比54%増と大幅な増加となりました。

### 米国ウォルマート、シートタイプの除湿剤を追加投入

2006年3月より米国小売店最大手ウォルマート・ストアーズの約3,300店舗などで、除湿剤Keep It Dry Closet Dehumidifier（ドライペットスキット）および脱臭剤Closet Deodorizer（脱臭炭）を販売し、売上も好調に推移してきました。2009年3月期はさらにシートタイプの除湿剤を追加投入するなど、商品ラインナップの拡充を進めています。



### 韓国・合併会社「愛敬S.T.」設立により、消臭芳香剤・防虫剤が伸長

2007年3月、韓国の家庭用品メーカー第2位の愛敬産業（株）および韓国伊藤忠商事（株）と合併会社「愛敬S.T.」を設立し、5月より消臭芳香剤、防虫剤などの販売を開始。韓国では消臭芳香剤市場が年々拡大しており、「愛敬S.T.」を通じてエステーブランドの商品を積極的に販売しました。この結果、アジア地域の売上高は前期比約2.7倍と飛躍的に増加しました。



### グループ企業のご紹介

#### エステートレーディング（株）

エステートレーディングは、産業用商品、作業用手袋を中心に販売する会社です。その取り扱い商品は、エステーの商品のみならず、国内外の有力ブランドも取り扱っております。



#### エステーオート（株）

エステーオートは、車の楽しさ、快適さを創造するため、車用消臭芳香剤・ワックスなどのカーケミカルカテゴリーをはじめ、整備関連におけるプロフェッショナルケミカル商品まで取り揃えております。



#### エステービジネスサポート（株）

エステービジネスサポートは、当社およびグループ各社の受注・物流・請求関連業務や事務業務のほか、販売先小売店に対する店舗フォローや販売代行などの業務を請け負っております。

## “2万人の鼓動 TOURS ミュージカル「赤毛のアン」”

当社は、多くの人々に癒しや感動を伝えていきたいという思いから、1998年からオリジナルミュージカルを主催し、全公演でお客様を無料ご招待しています。本年も、夏休みに全国8都市で“2万人の鼓動 TOURS ミュージカル「赤毛のアン」”を開催いたします。

### ◆原作100周年を迎えた「赤毛のアン」の魅力をお届けします

6年目の演目となる「赤毛のアン」は、想像力豊かで常に前向きなアンの姿が、勇気と希望を与えてくれる物語として、世界中で読み継がれています。本年は、原作の誕生から100周年を迎え、テレビや出版などさまざまな分野で注目されています。当社のミュージカルでは、作品の魅力を最大限に表現し、お客様に感動をお届けします。

### ◆島谷ひとみさんはじめ舞台経験豊富なキャストらによる本格的な舞台

主人公のアン役には、昨年抜群の歌唱力と演技力を披露してくれた歌手の島谷ひとみさんを起用。また、アンの養母マリラ役に安奈淳さん、ギルバート役に良知真次さんなど、舞台経験豊富なキャストが脇を固め、全国のオーディションを勝ち抜いた子供たちと共演します。昨年の公演では、観客席でスタンディングオベーションが起き、会場アンケートでも絶賛の声を多くいただくなど本格的な舞台となっております。

### ◆“2万人の鼓動 TOURS ミュージカル「赤毛のアン」”とは

“2万人の鼓動 TOURS ミュージカル「赤毛のアン」”には、スタッフやキャストだけでなく、ステージを観る観客やオーディションへの参加者など、総勢2万人の全ての方が「TOURS」の一員として、このミュージカルに参加し、熱い想いや楽しさを共有できたらという願いが込められています。

### ◆チケットプレゼントキャンペーンのご案内

全国主要8都市で行う公演は、全席お客様を無料でご招待する形を取っています。6月末まで1,000組2,000名様を招待する「チケットプレゼントキャンペーン」を実施しているほか、合計で9,000組18,000名様のお客様をご招待します。



### ◆公演スケジュール

公演日程	会場
8月14日(木)	札幌市教育文化会館
8月15日(金)	東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館)
8月19日(火)	大宮ソニックシティ
8月20日(水)	新宿文化センター(2回公演)
8月21日(木)	新宿文化センター
8月25日(月)	大阪厚生年金会館
8月26日(火)	福岡市民会館
8月27日(水)	ALSOKホール(広島県立文化芸術ホール)
8月28日(木)	中京大学文化市民会館(旧名古屋市民会館)

“2万人の鼓動 TOURS ミュージカル「赤毛のアン」” HP <http://www.st-musical.com>

### 100組200名の株主の皆様を「赤毛のアン」へご招待

株主優待品に同封いたしましたアンケートハガキにお答えいただいた方の中から抽選で100組200名の株主の皆様へ、本年のミュージカル公演ご観覧ペアチケットをプレゼントいたします。(締切：2008年7月15日必着)

## 株式の状況

(平成20年3月31日現在)

### ●株式の総数

(ア) 発行可能株式の総数 96,817,000株

(イ) 発行済株式の総数 29,500,000株

(ウ) 1単元の株式数 100株

### ●株主数

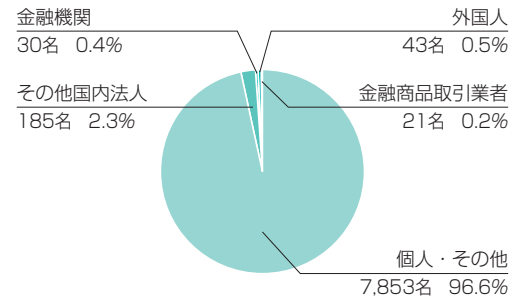
8,132名

### ●大株主

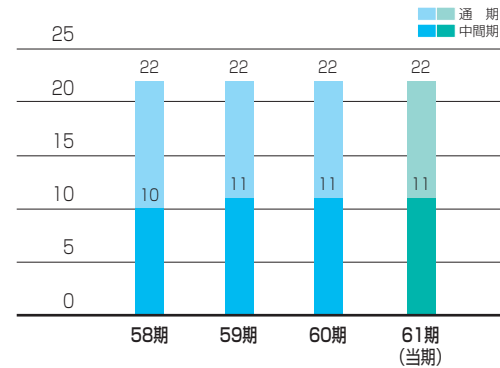
氏名又は名称	持株数	持株比率
株式会社 シャルダン	4,674 千株	15.8 %
日本生命 保険 相互 会社	1,671	5.7
みずほ信託退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託	884	3.0
鈴木 喬	812	2.8
有限会社 ファミル	780	2.6
株式会社 三菱東京UFJ銀行	681	2.3
鈴木 誠一	582	2.0
鈴木 明雄	485	1.6
有限会社 キャレーヌ	433	1.5
株式会社 損害保険 ジャパン	416	1.4

(注) 1. 当社は自己株式7,686千株(26.1%)を有しております。  
2. みずほ信託退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託を名義人とする884千株は、株式会社みずほ銀行が保有する当社株式を退職給付信託として設定した同行の信託財産であります。

### ●所有者別分布状況



### ●配当金の推移 (単位: 円)



## 株主優待品

2008年3月期末の株主優待品は、割当基準日である3月31日時点で当社株式を100株以上1,000株未満保有されている株主様へ1,000円相当の、また1,000株以上保有されている株主様へ3,000円相当の当社製品詰め合わせを送付させていただきます。なお、お届けは6月下旬を予定しております。

100株以上 1,000円相当当社製品詰め合わせ 年1回(割当基準日3月31日)  
1,000株以上 3,000円相当当社製品詰め合わせ 年2回(割当基準日3月31日・9月30日)



100株以上1,000株未満株主様向け

1,000株以上株主様向け

## 会社の概要

(平成20年3月31日現在)

●設立 昭和23年8月31日  
●資本金 7,065,500千円  
●従業員数 従業員 ※臨時従業員  
連結 607名 135名  
単体 361名 73名  
※平均人員、パートタイマー・嘱託を含む

## 事業所

(平成20年3月31日現在)

●本社 〒161-8540  
東京都新宿区下落合1-4-10  
TEL. 03-5906-0731 (代表)  
●支店 札幌、仙台、関東(埼玉)、東京、名古屋、  
大阪、広島、福岡  
●営業所 横浜、金沢、高松  
●工場 福島、埼玉、九州(福岡)  
●R&Dセンター 東京

## 役員一覧

(平成20年6月18日現在)

取締役  
取締役会会長 (指名委員) 鈴木 喬  
取締役(社外) (指名委員・監査委員・報酬委員) 梶原 保  
取締役(社外) (指名委員・報酬委員) 野呂 正則  
取締役(社外) (監査委員) 小門 裕幸  
取締役(社外) (指名委員・監査委員) 前原 輝幸  
取締役(社外) (監査委員) 宮川 美津子  
取締役 (指名委員) 小林 寛三  
取締役 (報酬委員) 嶋田 洋秀

執行役  
代表執行役社長 小林 寛三  
常務執行役 営業本部長 影浦 憲章  
常務執行役 コーポレートスタッフ部門担当 嶋田 洋秀  
執行役 営業本部副本部長兼東京支店長 加藤 孝彦  
執行役 営業本部副本部長兼大阪支店長 城ノ戸 真一  
執行役 マーケティング部門担当 北原 雅美  
執行役 国際部門担当 早坂 敬一  
執行役 グループ戦略担当 鈴木 喬

## 個人投資家向け「日経IRフェア2008」に出展します

2008年8月22日(金)~23日(土)の2日間、東京ビッグサイトで開催の「日経IRフェア2008」(日本経済新聞社主催)に出展いたします。昨年は2日間で14,508名の来場者がある中、当社のブースには1,800名以上の個人投資家の方にお立ち寄りいただきました。

今年もより多くの投資家や株主の皆様へ直接、当社への理解を深めていただける機会として、ブースへの出展(会社概要・新製品・投資情報などの展示)、会社説明会(経営方針や事業戦略などの説明)などを予定しておりますので、是非ご来場ください。

